



『“察する”ということ』

学校長：武藤 浩之

- ◆読書の秋から少タイメージを拡げて、学びの秋としましょう。子ども達だけでなく、私ども教員にとりましても秋は学びの季節です。10月13日には仙台白百合学園小学校にて、「北海道・東北地区私立小学校教員研修会」が行なわれ本校からも全教員が参加しました。一週間後の10月20日は郡山で、「東北地区私立幼稚園教員研修大会」です。この研修会の第2講義で、考えさせられた言葉がありました。“察”です。
- ◆賢察。推察。拝察。洞察…。察には、推しはかる、思いやるの意があります。講師曰く、「日本は世界で一番察する文化を持つとされていたが、それが失われつつある」とのこと。「だからこそ具体的な言葉で、明確に分かりやすく意思表示をする必要がある」と述べました。いわゆるコミュニケーション能力です。
- ◆10年ほど前だったでしょうか。とある研修会で、とある神父のご講話を拝聴しました。その中で、今でも心に残っている言葉があります。「祈りとは、物事の背景を洞察することでもある」という言葉です。例えば、相手の心情という見えていない部分を推しはかる。気持ちを思いやる。もちろんコミュニケーション能力の育成は不可欠ですが、その一方で“察する”ということも涵養しなくてはならないと思っています。祈りの時間を大切にしているカトリック校であるがゆえに尚更です。
- ◆最後に5年1組の学級通信「Powerful Max」から決め言葉を拝借して、巻頭言の締め括りにします。ゴールとエールです。来月の学習発表会に向けて、どの学年も準備と練習に力が入ってきました。小道具や衣装も至るところで目にします。ゴールとしての学習発表会。そして保護者の方々のエール。文化の秋が深まってきました。

6年「充実した会津修学旅行」 10/17(火)～18(水)

今回の修学旅行の目的は、「会津の歴史や伝統工芸について学ぶ」「規律を守りつつ、旅行を楽しむ」の二つでした。

飯盛山では、バスガイドさんの説明のもと、様々な場所を巡りました。中でも有名なものが、国指定重要文化財のさぎや堂です。二重螺旋、お札、観音様など、不思議な空間を肌で感じる事ができました。鶴ヶ城や日新館では、様々な展示物を見て、会津の歴史を学びました。事前に調べ学習を行なったことで、確かめたり、新たな発見をしたりする事ができました。

流紋焼きの手びねり体験では、一つの粘土からイメージした形（お皿や湯呑など）にしていきました。それがなかなか難しく、底が薄くなったり、ひびが入ったりとハプニングもありました。完成まで約二か月。届くのが楽しみです。

子どもたちは今までの学びを十分に生かし、協力し合いながら生活しました。旅館では温泉に入り、また豪華な食事を堪能するなど、十分に満喫しました。

二日間晴天に恵まれ、6年生全員が修学旅行に参加することができました。

小学校生活の、よい思い出の一つとなったことでしょう。

(6年担任 原田 聖士)



流紋焼きの手びねり体験：ひびが入らないように慎重に。

校内陸上記録会「5分間走」10/23

気持ちのよい青空のもと行なった校内陸上記録会。5分間で何メートル走ることができるかを競いました。

これまで、体力強化として、朝や休み時間、授業の中でも陸上運動に力を入れてきました。記録会当日は、授業での自分の記録更新を目指して力いっぱい走っていました。同級生や他学年に対する応援も大きな力となり、自己ベストを出した児童も多くいました。大会後も続けて走り、体力強化に努めてほしいです。(体育科 湯川 洋)



自己ベストを目指して「自分とのたたかい！」

—お知らせ—お願い—

入賞おめでとうございます！

- ◆福島県火災予防絵画・ポスターコンクール【高学年の部】・最優秀賞：5年
- ◆第19回ポンドのこニシ夏休み工作コンテスト・入賞：1年, 2年
- ◆第34回お〜いお茶新俳句大賞・佳作：6年
- ◆第10回こども作文コンクール・読売新聞社賞：4年
- ◆第56回お母さんありがとう作文コンクール・特選：4年
- ◆第55回福島県児童作文コンクール【福島地区】・特選：3年・準特選：2年 5年

幼稚園「未就園児クラス11月」のお知らせ

- 【さくらんぼクラス：0歳からのお子さま】
- ・期日…2日(木), 13日(月), 20日(月), 27日(月)
- ・時間…10:00～12:00(予約制, 各回10組程度)
- ・1回につき200円(保険込み)

第52回北海道・東北地区私立小学校教員研修会 10/13(金)

- ◆年1回開催されているこの研修会。昨年度より対面での研修会復活となりました。
- ◆今年度の会場校は仙台白百合学園小学校でした。校舎内外のマリア像、祈りから始まる落ち着いた雰囲気は、本校と同じカトリック校ならではのものです。
- ◆「私学ならではの小学校教育の展開～自ら考え、喜んで学ぶ子ども～」をテーマに、午前は各教科ごとに研究授業を行ない、その後、指導助言者を招いての事後検討会を行いました。
- ◆午後は、コロナの影響で延期となっていた「50周年記念シンポジウム」が2年越しに開催されました。「これからの教育を創る教育者のあり方」をテーマに、筑波大附属小元副校長の田中 博史氏と国立学園小学校前校長(日私小連事務局長)の児玉 宏之氏によるシンポジウムは、我々参加者を巻き込む形での展開で、より参加者意識の高まるものとなりました。また、その後の祝賀会では各校の学校紹介が行なわれ、互いに学び合う一日となりました。(教頭 中津真貴子)



3年 社会科見学「福島市消防本部」10/26

見学では、教科書で見ていた消防車や消防士さんの目の当たりにし、思わず「カッコいい」という言葉がこぼれた子どもたちでした。また、はしご車の迫力と消防士さんのきびきびとした動き、そして、偶然にも見ることができた出動の緊迫感に圧倒されていました。

仕事内容や防火衣、用具、車両など、一つずつ教えていただき、私たちの暮らしを守る「消防士」という仕事を知り、さらにこれから深めたいという意欲を持つことができた見学となりました。

(3年担任 佐藤 櫻子)



酸素ボンベの重さを体感しました。

4年 社会科見学「西根堰」10/27

社会科学習の一環として飯坂方面にある用水路、西根堰の見学に出かけました。摺上川からの水の取り入れ口やトンネルの中の水路を見たり、自然の川との交差のさせ方を学んだりしました。

大事なところは、管理事務所の職員の方が詳しく説明してくださり、子どもたちはうなずきながらとてもよく聞いていました。

この西根堰ができたのは、今から約400年前です。当時の人たちの努力と情熱を肌で感じた見学でした。

(4年担任 定方 一悦)



今も残る手彫りの跡に感動しました。

環境委員会 第2回 資源回収
 《日時》11月4日(土) 7:40～9:00
 《場所》児童玄関前
 ・登(園)校の時間帯と重なります。自家用車で搬入される場合はご注意ください。(学校側担当：加藤)

ベルマーク委員会 第2回 ベルマーク作業
 《日時》11月4日(土) 10:00～11:00
 《担当学年》1, 6年生
 《場所》受付で確認してください。
 ・前回の当番で欠席された方は、今回または3回目の作業に参加して下さい。(学校側担当：湯川)

転入生が入りました。よろしくお祈いします。
 ◇4年1組・・・さん(会津若松市より)

生活指導部 下校時刻
 ◇11月～3月まで施錠が16:00になります。(15:50に退校の放送)
 ◇水曜日と土曜日の退校時刻は変わりません。
 ◇防寒着等につきましては下の通りお祈いします。
 ・マフラー、手袋…華美ではないもの。
 ・防寒靴……………踵の高い靴やロングブーツではなく、通学に適したシンプルで機能的なもの。